



## 平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社デファクトスタンダード 上場取引所 東  
 コード番号 3545 URL <http://www.defactostandard.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾嶋 崇遠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 丸尾 隆 TEL 03 (4405) 8177  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第1四半期の業績 (平成29年10月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	2,739	2.8	22	75.5	24	78.8	16	81.5
29年9月期第1四半期	2,664	—	12	—	13	—	8	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	3.58	3.52
29年9月期第1四半期	1.97	1.91

(注) 平成28年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、29年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第1四半期	4,082	3,333	81.6	738.64
29年9月期	4,058	3,314	81.6	737.98

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 3,333百万円 29年9月期 3,313百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	—	—	0.00	0.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年9月期の業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,091	15.0	480	9.5	480	8.8	332	9.2	73.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第1四半期累計期間における新株予約権の行使による発行済株式数の増加等を加味して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	4,570,000株	29年9月期	4,570,000株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	57,500株	29年9月期	80,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	4,508,750株	29年9月期1Q	4,520,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当期の経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかな景気回復が続いておりますが、人手不足による人件費の上昇や、大手宅配事業者の値上げによる物流コスト増加などの懸念も残り、個人消費の回復は力強さを欠く状況が続いております。

当社が属するリユース業界では、従来型の店舗やインターネットオークションを通じた取引に加え、近年、スマートフォンを利用して個人間でリユース品を売買する“フリマアプリ”市場が急速に拡大しております。このような環境の下、当社はリユース・ブランド及びファッション商品等(バッグ、洋服、時計、アクセサリ、財布、その他)に特化した買取・販売を、「ネット専業リユース事業」及び「その他事業」として展開してまいりました。

買取面では、平成29年10月に販売サイト「ブランディアオークション」と連動した下取りサービスを開始したほか、同月に「ブランディアポイント」による買取も開始し、既存ユーザー、特に優良顧客へのアプローチの活性化を図りました。また、平成29年11月には㈱TSIホールディングスと提携し、ファッションECサイト「MIX.Tokyo」での買取キャンペーンを開始いたしました。これら買取サイトの訪問者数増加及び買取単価上昇により、当第1四半期累計期間における買取申し込み件数は125,930件(前年同期比1.0%増)、買取金額は1,586,570千円(同14.0%増)となりました。

販売面では、自社販路である「ブランディアオークション」で前述の「下取り」及び「ブランディアポイント」サービスをリリースしたほか、平成30年春に公開予定のブランディア“ECアプリ”の開発を進めてまいりました。また、前期に引き続き、1to1マーケティングを強化した結果、当第1四半期累計期間における売上総利益率は52.7%(同2.9ポイント増)に向上するとともに、自社販路の売上構成比が24.7%(同5.9ポイント増)に向上いたしました。

費用面では、出品業務の在宅ワーク化を進め、業務人件費を削減する一方で、積極的に広告宣伝を行った結果、当第1四半期累計期間における広告宣伝費は500,211千円(同20.8%増)となりました。

以上の結果、売上高は2,739,308千円(同2.8%増)、販売費及び一般管理費は1,420,963千円(同8.1%増)、利益面では営業利益は22,750千円(同75.5%増)、経常利益は24,678千円(同78.8%増)、四半期純利益は16,161千円(同81.5%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① ネット専業リユース事業

ネット専業リユース事業については、引き続き広告宣伝の増加に基づき買取商品が増加した結果、販売が増加し、外部顧客に対する当第1四半期累計期間の売上高は2,560,541千円(前年同期比5.0%増)、セグメント利益(売上総利益)は1,408,716千円(同11.3%増)となりました。

#### ② その他事業

その他事業については、高級ブランド品や貴金属相場の影響等を受けることから、外部顧客に対する当第1四半期累計期間の売上高は178,767千円(同20.9%減)、セグメント利益(売上総利益)は34,998千円(同43.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて32,325千円減少し、3,747,833千円(前事業年度末比0.9%減)となりました。これは主に、現金及び預金の減少(同368,514千円の減少)によるものであります。

##### (固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて56,268千円増加し、335,087千円(同20.2%増)となりました。これは主に、在庫棚等の有形固定資産の増加(同56,480千円の増加)によるものであります。

##### (流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて9,455千円減少し、638,882千円(同1.5%減)となりました。これは主に、納税による未払法人税等の減少(同105,945千円の減少)によるものであります。

##### (固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて13,817千円増加し、110,203千円(同14.3%増)となりました。これは有形固定資産の取得に伴う資産除去債務の増加(同13,817千円の増加)によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて19,581千円増加し、3,333,835千円(同0.6%増)となりました。変動要因は主に、新株予約権の行使に自己株式を割り当てたことにより、自己株式が減少したことによる増加(同32,670千円の増加)、自己株式処分差損が発生したことによる資本剰余金及び利益剰余金の減少に伴う減少(同29,250千円の減少)であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、概ね当社の予想範囲内にて推移しており、平成30年9月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,445,470	2,076,956
売掛金	238,662	273,203
商品	1,009,254	1,300,231
貯蔵品	1,657	2,509
その他	85,115	94,933
流動資産合計	3,780,159	3,747,833
固定資産		
有形固定資産	189,779	246,260
無形固定資産	19,938	19,012
投資その他の資産	69,101	69,814
固定資産合計	278,819	335,087
資産合計	4,058,978	4,082,921
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,904	50,924
未払法人税等	116,832	10,886
その他	472,601	577,071
流動負債合計	648,337	638,882
固定負債		
資産除去債務	96,386	110,203
固定負債合計	96,386	110,203
負債合計	744,723	749,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,209,422	1,209,422
資本剰余金	1,125,449	1,119,672
利益剰余金	1,094,730	1,087,418
自己株式	△116,088	△83,418
株主資本合計	3,313,513	3,333,094
新株予約権	741	741
純資産合計	3,314,254	3,333,835
負債純資産合計	4,058,978	4,082,921

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,664,498	2,739,308
売上原価	1,336,572	1,295,593
売上総利益	1,327,926	1,443,714
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	414,161	500,211
その他	900,798	920,751
販売費及び一般管理費合計	1,314,959	1,420,963
営業利益	12,967	22,750
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	502	—
助成金収入	330	340
その他	0	2,016
営業外収益合計	833	2,356
営業外費用		
為替差損	—	429
営業外費用合計	—	429
経常利益	13,800	24,678
税引前四半期純利益	13,800	24,678
法人税、住民税及び事業税	3,581	4,628
法人税等調整額	1,315	3,888
法人税等合計	4,896	8,516
四半期純利益	8,903	16,161

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,438,526	225,972	2,664,498	—	2,664,498
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,438,526	225,972	2,664,498	—	2,664,498
セグメント利益	1,265,868	62,058	1,327,926	△1,314,959	12,967

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書 計上額 (注)2
	ネット専業 リユース事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,560,541	178,767	2,739,308	—	2,739,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,560,541	178,767	2,739,308	—	2,739,308
セグメント利益	1,408,716	34,998	1,443,714	△1,420,963	22,750

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。